よりよい学校づくり（学校評価）のためのアンケート集計結果より

１　学校教育目標について（生徒アンケートより）

中部中学校では、「家庭・地域との連携・協働を基盤に、鍛え、考え、助け合う！魅力いっぱい中部中Ⅲ」の充実を目指しています。

全体の傾向としては、８割以上の肯定的な回答が多数ありました。

以下は、「令和４年度の学校運営」に示した４つの柱「授業づくり」「仲間づくり」「健康づくり」「安全づくり」を観点に、アンケート結果を分析しています。

(1) 仲間づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問４：学校へ行くのが楽しい」（本年度より質問表現変更）  肯定的な回答 |  |  | R4 |
|  |  | 73％ |
| 「問６：体育大会などの行事に積極的に参加している」  肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 85％ | 93％ | 88％ |
| 「問７：学級の係活動、生徒会活動や委員会活動に積極的に参加している」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 79％ | 84％ | 85％ |

問４は、昨年度と質問表現を変えたため経年比較はありません。「あまり思わない」「まったく思わない」が20%超であったことを受け止め、楽しい学校づくりを進めるとともに、より一人一人の思いに寄り添っていきたいと思います。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１１:中中生は、お互いの気持ちを大切にする」  　　　　　　　　　　　　　　　　 　 肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 85％ | 84％ | 84％ |
| 「問１２:中中生は、地域や学校であいさつができる」  肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 85％ | 89％ | 86％ |

問１１、問１２は、ほぼこれまでと同じくらいの結果となっています。本年度は重点課題の一つとして「あいさつ運動と振り返りを軸にした、仲間とのふれあい活動の推進」を挙げていますが、今後も継続して推し進めていきたいと考えます。

(2) 授業づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１３：授業の内容がよくわかり、楽しく学習している」  肯定的な回答  「あまり思わない」「まったく思わない」 | R2 | R3 | R4 |
| 82％ | 78％ | 78％ |
| 17％ | 20％ | 20％ |
| 「問１６：「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」  肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 59％ | 61％ | 69％ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１８：家庭学習は自分で工夫して計画的に行っている」  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 |  |  | R4 |
|  |  | 62％ |
| 「問２０：進路について家庭で話し合っている」  肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 65％ | 72％ | 69％ |

問１３は昨年度と変わらない結果となっていますが、「思わない」と回答している生徒が20％います。この結果を謙虚に受け止め、「わかる授業」に努めてまいります。問１６は肯定的な回答が徐々に増えてきています。主体的に学ぶ姿勢を大切にし、ＩＣＴ機器を有効活用し、今後も授業の進め方を検討します。

問１８は、本年度からの質問項目です。宿題の量や出し方については今後も学校で検討していきます。与えられた課題をやることだけが家庭学習ではなく、自主的に学習できるような工夫をしていきたいと考えています。

(3) 健康づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１６:命の大切さや豊かな心のあり方、社会のルールについて学ぶ機会がある」　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 81％ | 84％ | 82％ |

問１６は、３年間継続して肯定的な回答が８割を超えています。生徒たちの心の成長や命を大切する教育を推進するために、保健、道徳、学級活動等の連携を図り、様々な場と時間を効果的に機能させて、学びの場の充実を図り続けたいと考えます。

(4) 安全づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問２３：地震や火災のとき、どう行動したらよいか知っている」  （本年度より表現を一部変更）　　　　　　肯定的な回答 |  |  | R4 |
|  |  | 94％ |

昨年度までの、「知らされている」という表現を上記のように変更して実施しました。自分の身を守るにはどう行動したらよいかを知らされているではなく「知っている」にならないと、予測不能な事態では動くことができません。避難訓練や学級活動の後に、学んだことを振り返り、意見交換をする場等を今後も設けていきたいと考えます。

２　家庭との連携について（保護者アンケートより）

　肯定的な回答が８割を超えたものが多く、保護者の皆様の中部中学校の教育活動への御理解と御協力に改めて感謝いたします。

本年度も、保護者の方に御来校いただく機会が限られてしまい、大変申し訳なく思います。新型コロナウイルス感染症が収束し、例年のような学校生活に戻ることを願うばかりです。

肯定的な回答が多いものとして、次のものがありました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問６：生徒たちは、体育大会・文化祭等の学校行事に意欲的に取り組んでいる」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 88％ | 90％ | 90% |
| 「問７：生徒たちは、中学生らしい服装や言葉づかいで学校生活を送っている」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 87% | 88％ | 92％ |

今後も「自分で考え判断し、行動する」機会を増やしていきたいと考えています。保護者の皆様の温かい御支援により、生徒たちが学校生活に前向きに取り組むことができています。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１６：教職員は保護者の皆さんに誠意をもって接している」  肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 94％ | 91％ | 90％ |
| 「問１７：保護者に学校の様子を学校通信や学年通信等を通してお知らせできている」　　　　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 94％ | 92％ | 89％ |

これらの問いにも、多くの肯定的な回答をいただいております。慢心することなく、否定的な回答にも目を向け、一人一人の子どもたちにさらに寄り添い、各御家庭と協力し合い、お子様の健やかな成長に努めたいと考えています。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 「問１９：学校は、環境美化、整備に取り組んでいる」  　　　　　　　　　　　　　　　　　 　肯定的な回答 | R2 | R3 | R4 |
| 87％ | 79％ | 92％ |
| 「問２０：学校や地域で「『まちぐるみ』で子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う　　　　　　　　　　　　　　肯定的な回答 |  |  | R4 |
|  |  | 93％ |

今後も生徒とともに学校を大事にし、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。また、

問２０には大変多くの肯定的な回答をいただきました。令和６年度からは全市的にコミュニティスクールが設置されます。小学校や地域と連携し、まちぐるみで中中生の成長を応援していきます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

３　おわりに

今年度も学校評価アンケートに御協力をいただき、ありがとうございました。昨年度からのオンラインによる回答には、多くの方に御協力をいただくことができました。

本年度の重点課題３項目「わからないことや疑問を仲間とともに解決し合う機会と場の充実」「キャリアパスポートを生かすとともに、保護者と連携し、子どもの将来を見通す生き方教育」「あいさつ運動と振り返りを軸にした、仲間とのふれあい活動の推進」については、アンケート結果からは、改善の方向を見受けることができました。

来年度以降も子どもたちが生き生きと生活し、自分の可能性を最大限に伸ばせるような魅力ある学校づくりを目指していきます。今後も、保護者の皆様、地域の皆様の御支援、御協力をどうぞよろしくお願いします。